

# 令和6年度 育成部活動報告

## ☆あいさつ運動

「春のあいさつ運動・交通指導」 5月13日～17日

地域のボランティアで見守りを行ってくださっている方々へ、感謝の気持ちをあいさつに込めて頂きたい計画。

「秋のあいさつ運動・交通指導」 10月16日～18日

秋休み明けに実施。「おたすけハウス」ステッカーを探しながら登下校することで、認知してもらえるように計画。

「冬のあいさつ運動・交通指導」 1月6日～8日

冬休み明けに実施。自転車と高齢者の事故を受けて、改めて登下校の仕方を子どもたちに指導して頂きたい計画。

「新登校班のあいさつ運動・交通指導」3月10日～12日

暑さの為見送っていた夏のあいさつ運動を、新しい登校班に変わるタイミングで実施。

※時間帯:より実施しやすくする為、登校時だけでなく下校時にもお願いする文書にした。

## ☆すきすき週間

「すきすきバレンタイン」より名称の変更。

1週間・1分間の条件はそのまま。内容は、スキンシップが苦手な子や上級生に対しての事を考え、ふれあいの仕方は個人で考えてもらう事にした。

### 【実施結果】

提出枚数:計140枚(31%)・・・1年生23枚(29%)、2年生25枚(36%)、3年生33枚(46%)、  
4年生25枚(32%)、5年生20枚(23%)、6年生14枚(24%)

### 【皆さんの声】

- ・下のきょうだいがいるので、なかなか1対1の時間が取れていなかったの、良い機会だった。(1年生保護者)
- ・1年間の成長を感じられた。(1年生保護者)
- ・にげようとしたけど、つかまってにげられなかった。(1年生児童)
- ・かぞくのあいがつたわった。(1年生児童)
- ・おかあさんが、きもちいいよっていつてくれて、うれしかった。(1年生児童)
- ・登校前に実施。一日の元気の素になった。(2年生保護者)
- ・日頃からハグはしているが、ひざに乗せてもらうのは初めてで新鮮だった。(2年生保護者)
- ・父、母、弟、おばあちゃんと、毎日順番に抱きしめてもらっていた。(2年生保護者)
- ・取れていないお父さんとのコミュニケーションを肩たたきという方法で取れていて、嬉しそうだった。(2年生保護者)
- ・毎日、ハグで1日をリセットすることが出来ている。(2年生保護者)
- ・あったかい気持ちになった。ふだんしていないからはずかしかった。(2年生児童)
- ・うれしくて、あんしんしてねむれた。(2年生児童)
- ・3年生になると恥ずかしさでハグをしにくくなっていたが、すきすき週間だと進んでしてくれた。(3年生保護者)
- ・普段もしているが、意識しながら実施することも大事だと感じた。(3年生保護者)
- ・スキンシップが恥ずかしくなる頃だが、大きくなってやはり甘えたいのだなと感じ、取り組み以外でも毎日しようと思った。(3年生保護者)
- ・3人きょうだいだから2人の時間がなかったけど、2人の時間が作れたので気持ちがさわやかになった。  
お母さんがやってくれたから、おかえしをしたい。(3年生児童)
- ・パパとあくしゅしながらたくさん笑ってすごせたのが、すごく心があたたまった。(4年生児童)
- ・非常に嫌がれるが、これがないとスキンシップがない為、毎月でもしてもらいたい。(5年生保護者)
- ・下の子に気をつかって、なかなか甘えられないので、この週間に思い切り甘えられたようだ。(5年生保護者)
- ・「すきすき週間が始まるよ～」と毎年言い続けてくれて5年。毎日しているが「1分間」が良いそうだ。(5年生保護者)
- ・すきすき週間のおかげで息子がハグしてくれて、癒された。(5年生保護者)
- ・久しぶりにハグをしたら心があたたかくなった。なやみごとをわすれられた。(5年生児童)
- ・手首が痛かった(マッサージ)。もうやりたくない。(5年生児童)⇒これからもやってください。(保護者)
- ・いつもしているが、普段からスキンシップが取れていると再確認できた。(6年生保護者)
- ・1分間は少し難しかった。(6年生保護者)
- ・いつもしないから、いい機会だと思った。嬉しいようなはずかしいような、謎の気持ちになった。(6年生児童)
- ・週間があったからスキンシップがたくさん取れていたが、これからはなくなっていくのかなと思った。(6年生児童)

ご協力、ありがとうございました！